

1. 2016年度報告

1. 新教育システム計画「スペシャル・マスターコース」の推進

建築デザイン・芸術表現中心の新カリキュラムの詳細計画について引き続き検討を進め、新たなコンセプトに基づく教育テーマの設定、およびそれらに対応する配当科目やその内容、イメージする担当教員像などについて箇所内における議論を深めた。

また、新カリキュラムに包含する形で、芸術学校から大学院（本学大学院あるいは海外を含めた他大学大学院）への進学希望者を支援するための大学院進学プログラムについて、その具体的内容の検討を引き続き進めた。

なお、「Waseda Vision 150 実現のための教員増を伴う学術院等将来計画の支援策」に対する計画調書において申請した教員の増員計画については認められなかったものの、専任教員および任期付教員各1名の後任者採用（2017年4月1日嘱任）が決定し、新カリキュラム実現を支える教員体制の整備に一定の目処がついた。

2. 広報活動の見直し

本学学部在籍する文系学生を主とした入学希望者掘り起しのため、例年、西早稲田キャンパスでのみ実施している学校説明会を、新たに早稲田キャンパスと所沢キャンパスにおいても各1回試行的に実施した。

また、Web媒体による新たな広報活動として、外部求人情報サイトへの新規広告掲載やインターネット広告の配信などを展開した。併せて、2016年度始の芸術学校ホームページのリニューアルを機に、アクセス件数増に向けたコンテンツの充実やタイムリーな情報提供などの対応を適宜行った。

3. 学校運営・指導体制の見直し

専任教員および任期付教員各1名の後任者採用決定（2017年4月1日嘱任）に伴い、これら新任教員を含めた新たな布陣による2017年度以降の学校運営・学生指導体制および職務上の役割分担について検討を進めた。

2. 2017年度計画

1. 新カリキュラム策定・移行

新カリキュラムの策定、移行について、運営委員会における意思決定手続きを経て、2018年4月の運用開始に向けた各種手続きや準備作業を加速し、円滑な移行を目指す。

新カリキュラムでは、「建築とはすべての環境をデザインするもの」という考え方から引き出される新たなコンセプト“ASSEMBLE”（アSEMBル）に基づき、芸術学校の教育をデザインオリエンテッドに特化した内容に再編することを目指しており、今後このコンセプトから導き出される配当科目や教員人事等について検討を進め、運営委員会の議を経て確定する予定である。

2. 大学院進学プログラム策定

新カリキュラムの導入に合わせ、芸術学校から大学院（本学大学院あるいは海外を含めた他大学大学院）への進学希望者を支援するための大学院進学プログラムの詳細内容について確定し、2018年4月からの開設を目指す。

3. 広報戦略推進

2018年度入学希望者を対象として、新カリキュラムの内容を中核とした広報活動を展開する。これにあたり、昨年度に引き続き、西早稲田以外の各キャンパスにおける学校説明会の実施、Web媒体やインターネットツールを活用したより効果的な広報戦略の検討、実施について重点的に推進する。

さらには、建築・デザイン関連の組織や団体をターゲットとした広報強化により、芸術学校の知名度とプレゼンスの向上を図り、それらを通じた学生リクルーティングの拡大を目指す。

4. 新カリキュラムを実現するための指導体制整備

2017年度新任教員2名（専任教員1名、任期付教員1名）を含めた専任教員および任期付教員について、職務における役割分担の明確化を図り、新体制による学校運営の円滑化、活性化を図る。

また、2018年度の新カリキュラム移行および大学院進学支援プログラム開設に向けた新たな学生指導体制の検討を進める。

なお、新カリキュラム移行に伴い、2017年度以前に入学した在学生への十分な説明、適切な指導やケアについても万全を期するものとする。

以上